

新型電子式メーターによる実証試験の実施について

平成22年10月27日
北陸電力株式会社

当社は、お客さまサービス向上ならびに業務効率化に向けて、一般のご家庭を対象に、通信機能を備えた新型電子式メーターによる遠隔検針等の実証試験を行うこととしましたのでお知らせいたします。

本試験は、お客さま宅に設置している電力メーターを新型電子式メーターに交換し、冬季の積雪や樹木による遮蔽影響など、さまざまな状況下でのデータ伝送性能ならびに遠隔検針等の業務への適用について検証することを目的としています。

本年11月より実証試験に向けた準備を行い、平成23年度から24年度にかけて、約500戸(金沢市およびその近郊)のお客さまを対象に実証試験を実施いたします。その検証結果を踏まえ、本格的導入の可能性を検討してまいります。

< 新型電子式メーター導入により将来的に期待できる効果 >

- 電気のご使用場所に毎月出向いて行っている検針を遠隔で実施できる。
- 引越し時の電気の入り切りを遠隔で実施できることから、お客さま立会いが不要となる。
- 新型電子式メーターの通電状況を遠隔で確認することで、停電の際に、原因がお客さま宅内にあるのかどうか判定しやすくなり、復旧時間が短縮できる。
- お客さまご自身による効率的な電気のご利用を支援するため、時間ごとの詳細な電気使用量をお客さまにお知らせすることができる。

以上

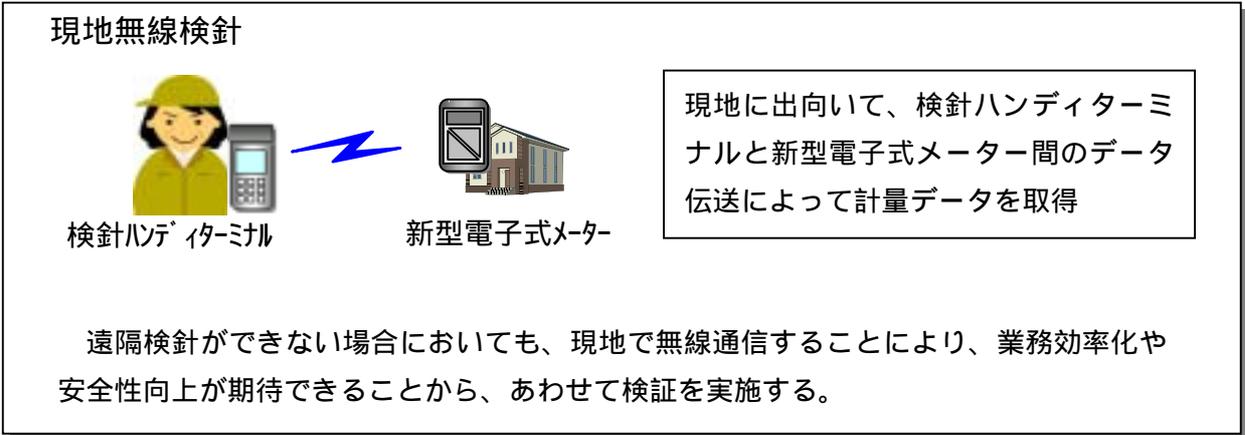
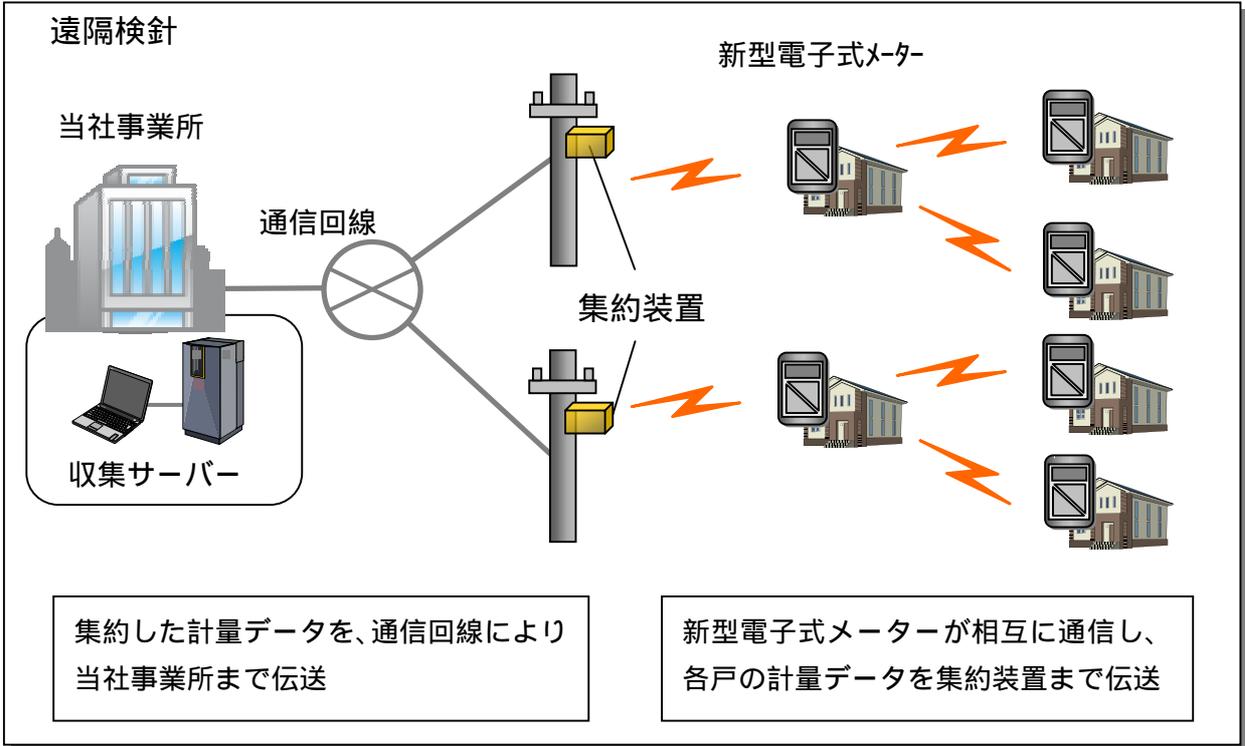
実証試験の概要について

【規模・地域】 約500戸（金沢市およびその近郊）

【主な検証項目】

- ・ 冬季の積雪、樹木など遮蔽物によるデータ伝送への影響確認
- ・ 遠隔検針や電気の入り切りの指示等、データ伝送に要する時間の把握
- ・ 現地無線検針での作業時間、通信可能距離の把握

【実証試験のイメージ】



なお、実証試験中も、検針員による検針業務等は継続して行います。